

- 1 教育事業名 「アジアの架け橋 沖縄スリランカプロジェクト」
～命と平和を未来へ～
- 2 ねらい 日本〈沖縄〉とスリランカの中学生、そしてそれをリードする両国の大学生チューターが「命と平和を未来へ」のテーマのもと交流することで、スリランカ中学生の日本に対する理解を増進し、また、日本〈沖縄〉の青少年の国際的視野を醸成し次世代リーダーを育成することをねらいとして実施した。
- 3 期 日 平成26年9月11日(木)～20(土) 9泊10日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家 沖縄県立糸満青少年の家
- 5 参加人数 スリランカ招へい生徒 16名 引率4名 日本(沖縄)中学生16名
大学生チューター(日本4人 スリランカ4人)
- 6 実施プログラム

月 日	カテゴリー	主な内容	宿泊
9月11日(木)		・那覇空港到着後 施設へ移動	糸満青少年
9月12日(金)	歴史・文化 生活	・オリエンテーション ・交流中学校訪問 ・授業体験・文化交流会・給食体験・ホームステイ	ホームステイ
9月13日(土)	生活	・ホストファミリーとの交流 ・ホームステイ2日目(生活習慣・食習慣の理解)	ホームステイ
9月14日(日)	生活・環境 平和	・渡嘉敷島へ(フェリー)・平和学習 ・日本、スリランカ食文化交流(カレー炊事) ・ディスカッション①(異文化理解)	国立沖縄
9月15日(月)	平和 環境	・海洋研修(美しい海を育む環境を知る) ・観光産業視察・講話・渡嘉敷村長表敬訪問	国立沖縄
9月16日(火)	環境	・美ら海水族館・沖縄科学技術大学院大学見学 ※沖縄尚学付属中学生と合流(16,17日)	糸満青少年
9月17日(水)	歴史・文化 平和	・嘉数高台(普天間飛行場視察)・糸数壕・平和祈念資料館 ・ディスカッション②(命と平和について)	糸満青少年
9月18日(木)	歴史・文化 生活	・沖縄県教育長表敬訪問・首里城周辺見学・那覇市街地 ・沖縄スリランカ文化交流の夕べ	糸満青少年
9月19日(金)		・クロージングセレモニー ・成田空港へ移動	成田ホテル
9月20日(土)		・スリランカへ帰国	

7 事業の様子



日本の授業を体験



茶道体験



ホームステイで親戚が集まり大歓迎



渡嘉敷島のきれいな海で海洋体験



糸数壕で戦争の追体験



「平和について」みんなでまとめます

8 エピソード（参加者の声より）

〈将来、今回の交流経験をどのように活かしていきたいと思いますか：事後自由記述〉

- ・言葉がうまく通じなくても、考えていることは伝えることができると体験できた。がんばって伝えようという気持ちと、少しの自信ができました。これからいろいろなホームステイ等に参加したいと思います。（中学女子）
- ・これからも多くの外国人と交流していき、外国の文化に触れ、日本の文化を伝えていきたいと思いました。（中学女子）
- ・交流をここで止めずに、自分の英語力を高めたい（中学男性）

9 担当者所見

今回の特徴としては、日本人中学生の事前学習を2回行い、2回目は宿泊学習を伴うものであり、今まで以上にスリランカの学習や日本沖縄の歴史文化の紹介、ディスカッション時に必要とされるスキルの向上が図られたと考える。

また、スリランカ招へい中学生と日本人中学生が一緒に行う渡嘉敷島研修に続き、沖縄本島でも美ら海水族館や、大学院大学、糸数壕、平和資料館など、昨年より2日間も一緒に交流する時間が増えた。ホームステイに加え、共に学習する体験を設けることで、共通体験に伴う中身の濃いディスカッションが行え、信頼、友情が深まり、高い満足度を得ることができたと考える。